

国際交流・協力アクションプラン 2023－2027

令和5(2023)年12月21日
国際交流委員会

アクションプラン策定に当たって

日本スポーツ協会（以下「JSPO」という。）は、2011年に創立100周年を契機に、21世紀のスポーツが果たすべき使命を謳った「スポーツ宣言日本」を発表しました。

同宣言では、21世紀におけるスポーツの使命として、「公正と福祉」「環境と共生」「平和と友好」という3つのグローバル課題へ貢献していくことを掲げ、JSPOがスポーツを通じて様々な事業に取り組むこととしております。

具体的な事業推進にあたっては、これまで事業計画や中期的な推進方策を定め様々な取組を進めてまいりましたが、2023年に新たに今後の5年間の中期計画を取りまとめた「JSPO中期計画2023-2027」を策定しました。中期計画では、JSPOの存在意義や使命、目指す姿を定めるべく、組織のミッション、ビジョン、バリューを明確にし、「4つの重点項目」と「32の成果目標」を掲げ、これからJSPOがどんな社会、未来をつくりたいか、そのために何を積み上げていくべきかを定めております。

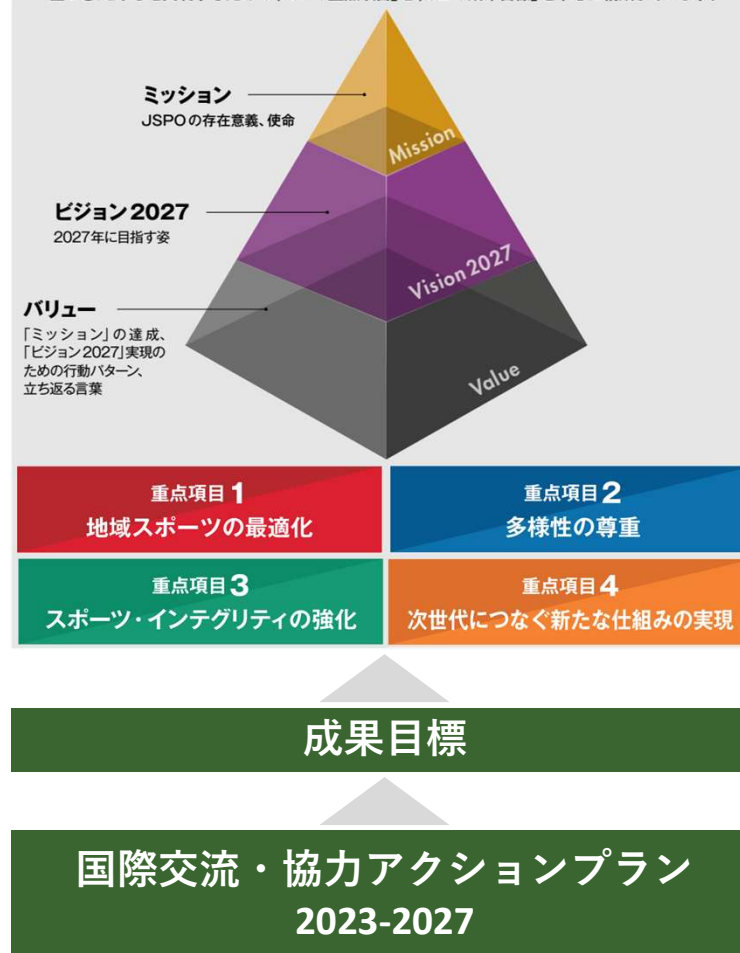
JSPOにおける国際交流・協力関係の推進にあたっては、これまで2018年に策定した「国際交流・協力プラン2018-2022」に基づき各種事業を推進してまいりましたが、上記中期計画において、新たに重点項目2「多様性の尊重」並びに重点項目4「次世代につなぐ新たな仕組みの実現」の中で計3点の成果目標が設定されたことに基づき、当該目標達成のため、2027年までの具体的なアクションプランを策定し、以下の基本方針に基づき施策を進めることといたします。

JSPO国際交流・協力の基本方針

- ・スポーツによる国際交流を通じて、多様性や異文化に対する理解を深める機会を創出する。
- ・スポーツによる国際協力を通じて、様々な理由によりスポーツに関わる機会が限定されている人々であっても、公正かつ公平にスポーツに親しみ、楽しめる基盤を作る。
- ・これらを実現することにより、多様性と調和の重要性を人々に根付かせ、平和と友好に満ちた社会の構築に寄与する。

JSPO中期計画2023-2027全体像

「JSPO中期計画2023-2027」は、JSPOの「ミッション」、「ビジョン2027」、「バリュー」に基づき、これらを実現するための「4つの重点項目」と「32の成果目標」を中心に構成しています。



JSPO中期計画（2023-2027）成果目標 ～国際交流・協力関係～

成果目標

到達目標

重点項目 2 多様性の尊重

我が国では在留外国人の数が急速に増加し、国内における多国籍化が進んでいる一方、日本語教育を受ける機会や日本の文化・習慣・社会制度に関する知識を習得する機会の不足や、地域社会からの孤立などの課題があります。

そこでJSPOは、在留外国人と日本人や地域コミュニティとのスポーツを通じた新たな交流事業を創出することにより、在留外国人と日本人や地域コミュニティとのつながりを豊かなものとし、多様性と包摂性のある共生社会の実現を目指します。

参加者数：
2027年度までに累計
1,000人以上

アジア地区では、指導者等の人材確保、政府やスポーツ組織による支援、学校体育における学習カリキュラム、健康増進、子供の体力の増進、学校におけるスポーツ実施などに課題があります。

そこでJSPOは、アジア地区との連携・協力事例を新たに創出することにより、アジア地区の人々がライフステージに応じて多様なスポーツ活動を実施できる基盤づくりに貢献します。

2027年度までに新たな連携・協力事例を創出

重点項目 4 次世代につなぐ新たな仕組みの実現

現代社会は、SDGs に掲げられる地球規模の課題に直面しています。

そこでJSPOは、次世代を担う若者一人ひとりが当事者意識を持ち、課題解決に取り組むため、国際スポーツ交流事業内で多様性や気候変動に関する教育プログラムを実施します。

参加者数：
2027年度までに累計
4,000人以上

成果目標達成のための施策①

成果目標

在留外国人と日本人や地域コミュニティとのスポーツを通じた新たな交流事業を創出する

日本国内における国際化進展の現状と課題を踏まえ、JSPOは、スポーツを通じて在留外国人と日本人や地域コミュニティとの繋がりをより豊かなものとし、多様性と包摂性のある共生社会の実現に寄与するよう努めます。

到達目標

参加者数：
2027年度ま
でに累計
1,000人以上

具体的施策

在留外国人とのスポーツ交流イベント等の開催

スポーツを通じた共生社会の実現に寄与するなど、スポーツを通じた社会課題の解決に向け、以下の取組を推進する

- ・ 在留外国人と日本人がスポーツを通じて交流するイベント等の開催
- ・ 都道府県、市区町村体育・スポーツ協会、競技団体等が実施する在留外国人交流とのスポーツ交流イベント等への開催支援
- ・ 国内の留学生団体や在留外国人団体とのネットワークの構築／スポーツ交流イベント等の開催に向けた連携強化

成果目標達成のための施策②

成果目標	
アジア地区との連携・協力事例を新たに創出する	
JSPOの持つ生涯スポーツ推進のノウハウを活用し、ASEAN諸国等を対象に、スポーツの推進において課題となっている事項や、現地のニーズを踏まえ、年齢・性別・競技レベルに関係なく、多くの市民が活動に参加できる生涯スポーツの基盤づくりに協力し、アジア全域のスポーツ環境の整備と充実・発展に努めます。	
到達目標	具体的施策
2027年度までに新たな連携・協力事例を創出	A S E A N諸国とのスポーツ国際協力・貢献の取組促進 <u>JSPOがこれまで実施してきたASEAN諸国とのスポーツを通じた協力関係を基盤に、以下の取組を推進する</u> ・ JSPO-ACPを活用した協力実績に基づく、タイ版ACP(Thai-ACP)の普及への協力・支援の継続 ・ ASEANを中心とした新たな国との連携・協力事例の創出に向けた取組の推進 ・ これまでの連携・協力事例の成果・課題の検証並びに今後の連携・協力の在り方の検討

成果目標達成のための施策③

成果目標

国際スポーツ交流事業内での多様性や気候変動に関する教育プログラムの実施

韓国および中国とのスポーツ交流実績を踏まえ、今後も両国との交流を継続していくにあたり、時代の変化を踏まえながら、交流プログラムの内容を見直し、新たなプログラムの導入を目指します。

到達目標

具体的施策

アジア地区スポーツ交流等における教育プログラムの実施

韓国および中国を中心としたスポーツ交流を推進していくにあたり、時代の変化を踏まえながら、交流の成果を最大限発揮できるよう、教育プログラムの導入等を含めた交流内容の改善に取り組む

- ・ 日本での受入交流における教育プログラム内容の策定・実施
- ・ 受入交流での教育プログラムの実施成果を踏まえた派遣交流における教育プログラムの実施検討
- ・ 教育プログラム実施成果／課題の検証に基づく今後の交流の在り方やプログラム内容の検討

参加者数：
2027年度ま
でに累計
4,000人以上

その他の取組

○国際交流・協力の実施に必要な財源の確保

- ・国庫補助金の安定的な確保
- ・協賛金収入、事業収入の獲得に向けた施策等の検討

○スポーツ関連機関・団体等との関係強化

- ・スポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）への協力／JSPO加盟団体のスポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム（SFTC）への加入促進
- ・国内外のスポーツ関連機関・団体・大学との連携・協力関係の構築
- ・通訳・翻訳者等養成機関（大学等）とのネットワーク構築

○国際交流・協力の実績・成果の発信

- ・国際交流の実施実績や成果等の検証・情報発信

○人材の育成

- ・職員における国際（スポーツ）情勢・語学等の学習／研修機会の拡充

○新たな交流国・地域の拡大

- ・経営資源を踏まえた新たな交流国・地域の検討

スケジュール

項目	内容	2023	2024	2025	2026	2027
在留外国人とのスポーツ交流イベント等の開催	在留外国人と日本人がスポーツを通じて交流するイベント等の継続的な開催	交流イベント等の企画・開催				
	都道府県、市区町村体育・スポーツ協会、競技団体等が実施する在留外国人交流とのスポーツ交流イベント等への開催支援	関係団体におけるイベント等の開催情報の収集／支援方法等の検討	開催・支援施策の実施			
	留学生団体や在留外国人団体とのネットワークの構築／スポーツ交流イベント等の開催に向けた連携強化	在留外国人等団体とのネットワークの構築				
		交流イベント等での連携・協力／情報交換等				
アジア地区との連携・協力事例の新たな創出	JSPO-ACPを活用したタイ版ACP(Thai-ACP)の普及への協力・支援	タイにおけるACP普及施策への協力／成果・課第等の検証				
		日本側の取組みやタイのニーズに基づいた情報・知見の提供				
	ASEANにおける新たな国との連携・協力事例の創出に向けた取組の推進	連携・協力に向けた関係国との協議等	課題／ニーズ等の把握 トライアル事業の実施	課題・成果等の共有 と協力内容の確定	協力内容の合意と実施	
	これまでの連携・協力事例の成果・課題の検証並びに今後の連携・協力の在り方の検討	成果・課題の検証				今後の連携・協力の在り方の検討
国際スポーツ交流内での教育プログラムの実施	日本での受入交流における教育プログラム内容の策定・実施	情報収集・関係団体との協議等	実施内容の決定 トライアル実施	成果・課題の検証と内容の見直し		
				教育プログラムの実施		
	受入交流での実績を踏まえた派遣交流での教育プログラムの実施に向けた検討	受入交流での教育プログラムの成果・課題等の検証／派遣交流でのプログラム導入に向けた交流パートナーとの協議・検討				派遣交流での教育プログラムの導入
	教育プログラム実施成果／課題の検証に基づく今後の交流の在り方やプログラム内容の検討				教育プログラムの効果検証と交流プログラム内容の検討	